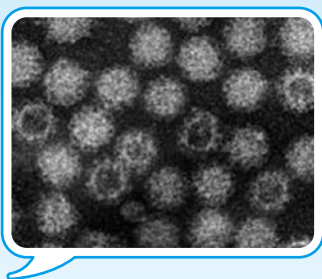


# 白 い ま ど

DECEMBER

12



## 特集

初冬に集団感染を  
起こしやすいので注意!

## ノロウイルス P-2

- 情報カード  
病院ホームページの  
バナーが変わりました P-5
- お役立ち情報  
正しく薬を飲むために… 第9回 P-6
- トピックス ボード  
結節性硬化症BOARD(診療チーム)が  
スタートしました! P-8
- 外来紹介  
耳鼻咽喉科 P-9



### 病院理念

私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

初冬に集団感染を起こしやすいので注意!

# ノロウイルス

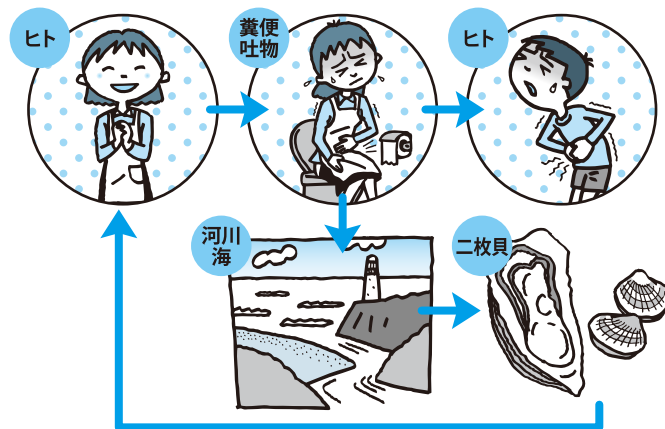
ノロウイルスは胃腸炎や食中毒の原因となるウイルスで、初冬の時期に集団感染を起こしやすいので注意が必要です。米国のオハイオ州ノーウォーク(Norwalk)の小学校で1968年に集団食中毒が発生したのをきっかけに発見されたためノーウォークウイルスの名前がついていますが、ノロ(Noro)ウイルスと呼ばれることが多いです。

## Question

どうしてノロウイルスにかかるの?

ノロウイルスが潜んでいるカキやアサリなどの二枚貝を生や加熱不十分な状態で食べることが感染のきっかけとなります。ヒトの口から入ったノロウイルスは胃酸では消化されずに小腸に達し、小腸上部の粘膜に感染して増殖し細胞を破壊することで下痢や腹痛、嘔吐を引き起こします。そのため吐物や下痢便には大量のウイルスが存在しており、これらが原因となって周囲がウイルスに汚染されやすくなります。感染しても症状のない人の方が2倍多いとも言われますが、便にウイルスが排出され他の人の感染源になってしまいます。感染した人が手指の消毒が不十分で調理した食品を食べると集団食中毒が発生します。また10℃以下の環境でもノロウイルスは長く生きられるため、トイレやドアの取っ手に触れた手で食品に触れたり、手を口にもっていきただけでも感染し、ヒト→ヒトと

のように周囲に感染がひろがってしまいます。初冬から発生が多いのは気温や水温が10℃以下となりやすいためです。ノロウイルスは下水の処理でも生き残り、河川に流れ込んで海に達し二枚貝に取り込まれます。二枚貝の中では増殖はしませんが濃縮されるため、それをヒトが加熱せずに食べると感染し、ヒト→河川→二枚貝→ヒトと感染が循環することになり流行が起こりやすくなります。



## Question

ノロウイルスにかかってしまったらどうすればいいの?

ノロウイルスによる食中毒・胃腸炎は、健康な人に感染した場合は3日ほどで回復に向かうため、下痢嘔吐による脱水症状を起こさないようにスポーツドリンクなどで水分補給に努めることで大事には至りません。しかし、高齢者や乳幼児、免疫力の低下した方では対応が遅れると生命の危険が生じますので注意が必要です。

# 病院ホームページの バナーが変わりました



## ● CHECK-1 高度専門医療・低侵襲治療

当院で行われている高度専門医療 (TAVI・TTTS)・低侵襲治療 (PVP・Mist・ESD) についてイラストや写真を使いながら詳しく説明しています！  
現在掲載されている治療法以外にも、新しい情報を順次掲載していきますので是非ご覧ください。

## ● CHECK-2 がん治療

当院のがん治療・がんの地域連携パスのご紹介をしています。がんの地域連携パスのダウンロードもこちらからできます。

\*詳しくは、**聖隷浜松病院** で **検索**

## ▶ 特集

ノロウイルスに感染したあとはその時期に流行した同じウイルスには抵抗力がつきますが、ウイルスの性質が変化しやすいため、年がかわれば繰り返し感染する危険があります。

いったん胃腸炎を発症してしまうと、看護してくれた家族や介護施設・病院職員にも次々と感染をひろげてしまう危険があるため、まず第一に「発端となる食中毒にからないこと」、次に「周囲に感染がひろがらないようにすること」が重要です。

## Question

### 食中毒にかからないためには？

- 1 カキなどの二枚貝は十分に加熱して食べるようにしましょう (95℃で1分間)
- 2 まな板や包丁などにウイルスがつかないように生野菜など生で食べるものの調理を先に行い、二枚貝や魚介類は最後に調理しましょう
- 3 普通のアルコール消毒剤ではノロウイルスは簡単には消毒できないため、手指は石けんと流水で良く洗い流しましょう
- 4 料理器具類はできるだけ熱湯か塩素系漂白剤で消毒するようにしましょう
- 5 吐物や便の処理は使い捨ての手袋を使用して扱きましょう

いったんノロウイルスが室内にひろがると3~4週生き続けて感染の原因となるため、上記の対応が大切です。ノロウイルスに感染しないよう、日頃から感染予防対策に努めましょう。

正しく薬を飲むために…

# くすりの一生

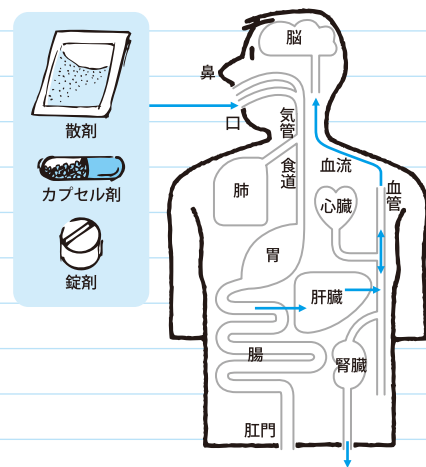
～服用から排泄まで～

私たちの体の中で薬がどのように吸収され、効果を発揮し、排泄されているか、知らない方も多いと思います。今回は「くすりの一生 ～服用から排泄まで～」について説明します。



□ から飲んだ内服薬は、食道→胃→小腸の順に体の中を通っていきます。このとき、薬は胃ではほとんど吸収されることはなく、小腸で大部分が吸収されます。吸収された薬は、肝臓に取り込まれて一部が分解され、残りが心臓へ達し、血流に乗って全身に送られ、目的とする部位に到着することではじめて効果を発揮します。内服薬が点滴に比べて少し時間が経ってから効果が出てくるのは、吸収するのに時間がかかるためです。

**本** 来、薬は体にとって異物であるので、無毒化・排泄する仕組みが整っており、肝臓と腎臓が重要な働きをしています。肝臓は薬を分解（代謝）し、また胆汁により便中に排泄する働きがあります。腎臓は血液をろ過して老廃物を尿として体の外に排泄しており、血液中の薬も腎臓でろ過・排泄されます。なお、薬によっては、肝臓が薬を分解する性質を逆手にとって、肝臓で代謝されて効果を表すように設計してある薬もあります。



**肝** 臓や腎臓が悪い方は薬を分解・排泄する力が弱くなっているため、薬が体に溜まりやすくなり、副作用が現れやすくなることがあります。高齢者では年齢とともに腎臓の働きも弱くなるので注意が必要です。

薬は、自己判断することなく、医師の指示に従って正しく飲むようにしましょう。

# ボード 結節性硬化症BOARD

BOARDは  
“診療チーム”  
を示します

## がスタートしました！

結節性硬化症は複数の臓器(脳・眼・心臓・肺・腎臓・皮膚など)に障害を起こしうる病気のため、多くの患者さんが、臓器ごとにいるような病院を受診し、大変な思いをされています。当院ではそのような悩みを少しでも解決できるよう、コーディネーターの医師を設置し、病院として総合的に対応できるようにいたしました。

### 受診の流れ

▶**診察** いつ? 水曜日(午前・午後)、金曜日(午後) \*紹介予約制

どこで? てんかんセンター

だれが? ●小児担当:岡西 徹 ●成人担当:藤本礼尚

結節性硬化症コーディネーター\*が、必要な検査や治療方針を検討します。

※…岡西 徹(小児神経科)  
藤本礼尚(てんかん外科、今井 伸(泌尿器科))

▶**検査** 脳・眼・心臓・肺・腎臓・皮膚など症状に応じて必要な検査を選定します。

▶**治療** 各科が連携し、総合的な治療を行います。  
また血縁者の遺伝的なカウンセリングや検査を行います。



小児神経科・小児科・泌尿器科・てんかん科・放射線科・神経内科・脳神経外科・呼吸器内科・呼吸器外科・皮膚科・眼科・病理診断科・臨床遺伝センター・医療福祉相談室・地域医療連絡室等

\*受診を希望される場合は、まずかかりつけの先生にご相談ください。  
紹介状をお持ちの方は 地域医療連絡室 (JUNC) ☎053-474-8801  
(月～金 9:00～17:00・土 9:00～12:00/祝祭日を除く)でご予約ください。

# 耳鼻 咽喉科

はかまだ かつら  
担当 部長 袴田 桂

- ▶出身地/三重県
- ▶出身校/浜松医科大学  
(1995年卒)
- ▶趣味/ゴルフ

## すべての耳鼻咽喉科疾患を 網羅する治療体制をめざして

耳鼻咽喉科というと、中耳炎や扁桃炎のイメージが強いと思いますが、当科で扱う疾患は非常に広範囲にわたっています。難聴やめまいのほか、甲状腺・頭頸部・口腔の良性腫瘍やがん、顔面神経麻痺や顔の外傷など、一般の耳鼻咽喉科では十分な対応が難しい疾患も広くカバーしています。頭頸部とは、鎖骨から上の眼球、歯、脳、背骨を除く器官のことで、当科は「頭頸部外科」としての役割ももっています。

がんや中耳、鼻副鼻腔疾患などの手術も積極的に行っており、手術後は可能な限り機能や形態を温存、再建し、患者さんのQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)を重視した治療を行っています。

また、急性炎症や突発性難聴などの緊急性の高い疾患に対し、可能な限り即時対応ができるよう、医師7名体制で診療を行っています。

広範囲にわたる全ての耳鼻咽喉科疾患の終着駅として、患者さんのニーズや不安に細かく応えられる外来をスタッフ一同目指しています。



# 聖隷浜松病院からのお知らせ

## ■ 紹介状をお持ちください

紹介状及び**予約が必要な診療科(紹介・予約制)**がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時**選定療養費**として**3,240円**を別途ご負担いただいております。

当院では、基幹病院と地域の「かかりつけ医」(医院、診療所等)が役割を分担し、連携しながら適切な医療を提供する「地域医療連携」を推進しています。皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

※初診時は医療機関からの事前予約にご協力をお願いいたします。

## ■ 再診(診察・検査等) 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかりますことをご了承ください。

外来受付センター ☎ **053-474-0100** (月～金曜13:00～16:45)

- お手元に診察券・予約券等をご準備のうえ、お電話いただきますようお願いいたします。
- 時間帯によってはお電話が繋がりにくい場合がございますのでご了承ください。

## ■ 面会について

- 面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00
- 産科・小児科病棟の面会者は1階総合受付で手続きのうえ、面会者札の着用をお願いいたします。

## 年末年始 診療体制のご案内

**2014年12月27日(土)午後～2015年1月4日(日)**は休診いたします。緊急の場合は救急外来での対応となります。救急受診の場合は、必ず事前に☎**053-474-2222**(代表)にお電話いただき、ご相談ください。

## 祝日・休日・時間外診療のお知らせ

当地域では、祝日・休日の日中は休日当番医、夜間は浜松市夜間救急室が対応しています。診療時間等は新聞や市の広報等をご覧ください。

夜間救急室

☎**053-455-0099**

浜松市中区伝馬町311番地の2 浜松市医師会館1階



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証  
日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 **聖隷浜松病院**

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222  
発行責任者 病院長 鳥居 裕一